

第17期定時社員総会

- | | | |
|----|----------------|----|
| 1. | 2024 年度事業報告の件 | 1 |
| 2. | 2024 年度決算報告の件 | 7 |
| 3. | 2025 年度事業計画の件 | 12 |
| 4. | 2025 年度収支予算書の件 | 14 |
| 5. | 第 1 号議案 理事選任の件 | 15 |
| 5. | 第 2 号議案 監事選任の件 | 15 |

2024年度 事業報告書

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

一般社団法人交通環境整備ネットワークの16期目となった2024年度は、東海道新幹線が開業から60周年を迎える、国鉄分割民営化となって発足したJRの時代が、日本国有鉄道時代の年数を超えた年ともなりました。

一方で、根室線の廃止や弘南鉄道大鰐線の運行休止の表明がされる等、地域の鉄道は厳しい環境下にあります。その中で、改正地域交通法に基づく鉄道事業の再構築が進展していることに期待を寄せ、当法人の諸活動を行って参りました。

1. 交通環境の調査研究

鉄道、バス等交通環境の現状に関する諸情報を収集するとともに、交通環境の調査研究結果を「鉄道の災害と防災」を特集として、機関誌『地域交通を考える』2025第16号において公表しました。

本誌は、2020年より国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）において科学技術情報誌に認定され、国のデータベースに登録されていますが、本期、新たに国際標準逐次刊行物番号のISSN番号（ISSN 2759-8276）を取得しました。なお、前期までは11月に刊行をしていましたが、本期より2月刊行に変更しています。

『地域交通を考える』2025第16号の内容

【巻頭言】

「鉄縁 一鉄道との不思議なご縁一」 室谷正裕（北総鉄道株式会社代表取締役会長）

【特集「鉄道の災害と防災】

「鉄道の防災対策のための支援措置」 中田勝久（国土交通省鉄道局鉄道事業課地方鉄道再建構築推進室長）
「鉄道被災調査活動（鉄道災害調査隊）による地域鉄道支援」

目黒靖人（独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道企画調査部鉄道総合支援課課長補佐 鉄道技術センター調査課兼務）

「経験に学ぶ災害対策」 河合 篤（一般社団法人交通環境整備ネットワーク審議役 元 西日本旅客鉄道株式会社常務技術理事・安全研究所長）

「九州の鉄道・災害との闘い」 下村仁士（交通権学会事務局長）

「東日本大震災と首都圏の節電ダイヤを振り返る」 平田一彦（一般社団法人交通環境整備ネットワーク審議役）

「大井川鐵道の現状と課題について」 鳥塚 亮（大井川鐵道株式会社 代表取締役社長）

【論考】

<運賃・料金>

「北総線の運賃値下げによる影響・効果の分析について」 川部亮太（北総鉄道株式会社 企画室）

「地方自治体の敬老パス等」 入江 聰（一般社団法人交通環境整備ネットワーク監事）

「研究事例紹介：都市鉄道における通勤時間帯の有料着席サービスについて」 平田一彦（一般社団法人交通環境整備ネットワーク審議役）

<鉄道>

「宇都宮ライトレールの開業とこれから」 小島好己（翠光法律事務所弁護士・宇都宮ライトレール株式会社顧問弁護士）

「近江鉄道のあゆみと事業再構築」 山田和昭（合同会社日本鉄道マーケティング代表、前近江鉄道構造改革推進部部長）

「芸備線と木次線の存続・活性化へ向けて」 堀内重人（運輸評論家）

<バス>

「関越交通株式会社の今と展望（コロナ禍以後）」 佐藤俊也（関越交通株式会社 代表取締役社長）・若木 亮（関越交通株式会社 企画部長）

【連載：鉄道法律相談】

「カスタマーハラスメント」 小島好己（翠光法律事務所弁護士）

【講演録】

地域鉄道の高付加価値フォーラム in 五所川原

地域鉄道フォーラム2024「交流人口の拡大と鉄道」

【作品鑑賞】 鉄道写真詩コンテスト2024

2. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

(1) 主催活動

①地域鉄道フォーラム 2024 「交流人口の拡大と鉄道」(国土交通省鉄道局後援) の開催

期 日 : 2024 年 (令和 6 年) 6 月 8 日 (土) 13:00~15:15

場 所 : 東武博物館ホール

東京都墨田区東向島 4-28-16 TEL 03-3614-8811 (代)

東武伊勢崎線 (東武スカイツリーライン)

参加人員 : 77 名

プログラム (司会 小倉沙耶審議役)

1. 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 山崎雅生氏

2. 基調講演 1 「観光立国欧洲の鉄道から学ぶ」

東洋大学国際観光学部教授 黒崎文雄氏

3. 基調講演 2 「温泉と鉄道の深い関係」

温泉ビューティ研究家・トラベルジャーナリスト 石井 宏子氏

4. トークセッション 「地域間流動の促進と地域の鉄道」

コーディネーター／國學院大學 観光まちづくり学部教授 楓 千里氏

温泉ビューティ研究家・トラベルジャーナリスト 石井宏子氏

東洋大学国際観光学部教授 黒崎文雄氏

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部准教授 篠原 靖氏

②鉄道写真詩コンテスト 2024 (国土交通省鉄道局後援) の開催

1. 作品募集 2024 年 7 月 1 日 ~ 9 月 30 日

2. 応募総数 167 作品

3. 審査委員

五十嵐徹人 (国土交通省鉄道局長)

大場喜幸 (鉄道博物館館長)

米屋こうじ (鉄道写真家)

水無田気流 (詩人・社会学者)

原 潔 (一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事)

4. 審査結果

表 彰	お名前	題 名	住 所	年 齢
国土交通省鉄道局長賞	保坂美枝	聖なる夜の無人駅	群馬県	64
鉄博賞	成田美香	波音と鉄路のシンフォニー	東京都	54
米屋こうじ賞	河内 優	映る	愛知県	51
水無田気流賞	恵良雅之	六花	東京都	32
エコトラン賞	田中 隆	菜の花の思い出	大阪府	56
エコトラン賞	川上 讓	冬の旅路	北海道	58
エコトラン賞	佐々木博光	遠い日に	青森県	72
エコトラン賞	山田シェイク美乃偉	いつもと同じ	千葉県	16
エコトラン賞	太田優人	会いに行くよ	北海道	9
エコトラン賞	武吉孝夫	予土線の旅	高知県	78
エコトラン賞	南 輝明	祈りの灯り	神奈川県	54
エコトラン賞	佐々木康光	遠くの君も	神奈川県	50

5. 作品展の開催

表彰作品については以下のとおり作品展等を開催しました。

○鉄道博物館 (さいたま市) 2024 年 11 月 6 日 (水) ~ 11 月 22 日 (金)

同館で、11 月 17 日 (日) 審査員の米屋こうじ氏と水無田気流氏によるトークショー「鉄道写真詩作品の鑑賞術」を開催。

○日本現代詩歌文学館（岩手県北上市）2024年11月2日（土）から11月30日（土）

○東武博物館（東京都墨田区） 2024年12月27日（金）～2025年2月20日（木）

6. 作品集ほか

入賞作品集を作成（A4二つ折り）し、展示会等で配布。

入賞作品を使用した2025年度カレンダーを作成。Webで公開。

③環境活動フェス2024への出展

期 日：2024年（令和6年）11月9日（土）～10日（日） 9:00～21:00

場 所：中央区立環境情報センター（中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン6階）

「鉄道はエコ、鉄道でエコ、エコトラン」の標語とともに、環境に対する鉄道の優位性をパネル展示しました。

④環境活動団体ecoワーク発表会

期 日：2025年（令和7年）2月5日（水）14:00～17:00

会 場：中央区立環境情報センター（中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン6階）

当法人からは、原代表理事、吉田専務理事、大熊理事が出席し、原より「持続可能な地域社会と鉄道」と題して、発表を行いました。

（2）後援・協力等の活動

2024年8月18日（日）～9月1日（日）開催のみなとメディアミュージアム、2025年1月22日（水）～2月7日（金）開催のグリーンインフラ産業展2025の後援を行いました。

3. 安全対策・支援事業

『地域交通を考える』2025第16号において、「鉄道の災害と防災」を特集し、鉄道における自然災害の歴史、災害への対応策、予算措置等についての論考を公表しました。

2025年3月13日中央区立環境情報センターにおいて「鉄道の災害と防災」をテーマに地域鉄道技術安全懇話会を開催し、情報を共有しました。

4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

（1）インターネットによる情報発信

①ホームページ

インターネットサイト <https://ecotran.or.jp/> で情報を発信しました。

②メールによる鉄道関係情報等の配信

鉄道等の地域交通関係諸情報を収集するとともに「ECOTRANからのお知らせ」をメールで配信を行いました。

過去の発信分は、ホームページ (<https://ecotran.or.jp/act/info/info.html>) でも掲載しています。

（2）会報『地域交通を考える』の発行

交通環境の調査研究論文及び諸情報をまとめた機関誌『地域交通を考える』2025第16号を2025年2月に発行しました。一般頒布は、ネットからの受付と共に東京神田神保町「書泉グランデ」での委託販売を行っています。

（3）『地域の発展と鉄道II』の発行

2023年12月に開催した「地域鉄道の高付加価値フォーラム in 五所川原～どっすー？地域鉄道」の内容と、JR城端線・氷見線の再構築について掲載した『地域の発展と鉄道II』を2024年5月に刊行しました。

（4）中央区立環境情報センターにおいての情報発信

中央区環境情報センターが主催する環境活動フェス（2024年11月9日～10日開催）において鉄道の優位性について展示を実施するとともにecoワーク発表会（2025年2月5日開催）において「持続可能な地域社会と鉄道」をテーマに発表を行いました。

5. 法人のうごき

(1) 定時社員総会

日時 2024年（令和6年）6月8日（土） 11時00分～11時40分

場所 東武博物館ホール

出席社員数（委任状・事前議決権行使済みの者を含む） 86名（総社員数127名）

報告・承認事項

1. 2023年度事業報告の件
2. 2023年度決算報告の件
3. 2024年度事業計画の件
4. 2024年度収支予算書の件

2023年度事業報告の件及び2023年度決算報告の件については原潔理事から内容を説明後、監事を代表して小島好己監事からの正しく事実と認める旨の監査報告が示されました。

続いて2024年度事業計画の件、2024年度収支予算書の件について吉田千秋理事から説明を行い、以上の4件を一括して諮ったところ特段の意見はなく承認がなされました。

(2) 理事会

①2024年6月8日（土） 東武博物館

社員総会、フォーラムの作業手順の確認、職務執行状況報告

②2024年11月3日（月） オンライン

鉄道写真詩コンテストの開催結果、鉄道写真詩コンテスト作品展示及びトークショーの開催、環境フェスの開催、『地域交通を考える』の刊行、地域鉄道フォーラム2025の開催、その他

③2025年3月30日（日） オンライン

定時総会議案書について、地域鉄道フォーラム2025、鉄道写真詩コンテスト2022の開催について、関西支部の設置について、その他

(3) 会員数

2025年3月31日現在 個人会員 123名 法人会員 9社・団体

会費の納入のお願い

2025年度（2025年4月～2026年3月）の年会費を、次の口座まで納入をお願いいたします。

○郵便振替

口座番号 00170-6-546398

口座名称(漢字) 一般社団法人交通環境整備ネットワーク

○銀行等からお振込みされる場合

ゆうちょ銀行 (019) 当座 0546398

ご支援のお願い

当法人のスタッフはすべて無報酬のボランティアにより運営を行っておりますが、印刷費、通信費等の諸経費は諸物価値上がりの折、皆様のご支援がぜひとも必要となっております。

会員として、引き続きご支援を賜りますよう、お願いを申し上げます。

(1) 法人会員 年間 48,000 円（入会金初年度のみ 2,000 円）

2025年3月現在 9 社・団体様 (津軽鉄道株式会社・えちごトキめき鉄道株式会社・ひたちなか海浜鉄道株式会社・京王電鉄株式会社・大井川鐵道株式会社・関東鉄道協会・関東交通印刷株式会社・社会システム株式会社)

(2) 個人会員 年間 3,000 円（入会金初年度のみ 2,000 円）

2025年3月現在 123 名様

会員の皆様には、

- ・調査研究の成果を載せた機関誌『地域交通を考える』(年1回)をお届けするとともに、地域交通関係のホットな情報を毎月2回程度メールで配信いたします。
- ・地域鉄道フォーラム等の開催にあたっては、会員優先参加できます。書籍の販売では、会員特別価格でお求めいただけます。
- ・会員は、『地域交通を考える』において論考を発表する機会を得ます。(論考の募集締切は、毎年11月末日。採否は編集委員会で決定)
- ・法人会員の皆様にあたっては、当法人のホームページで、法人会員様のリンク表示をいたします。
- ・ご要望により会員様相互のビジネスマッチングをさせていただきます。
- ・鉄道事業における様々な課題に対しての相談アドバイスを行わせていただきます。

詳しくは、ホームページ (<https://ecotran.or.jp>) をご覧ください。

法人会員の強化を図ってまいります。

会員の皆様におかれましても、法人会員への入会勧誘をお願い致します。

2024年度 決算報告書

第16期：2024年4月1日～2025年3月31日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

収支計算書
第16期：2024年4月1日～2025年3月31日

単位：円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計b		
1. 事業活動収支							
(1) 事業活動収入							
①受取入会金	10,000	6,000			6,000	4,000	
②受取年会費	600,000	707,000			707,000	△ 107,000	
③事業収益	100,000				0	100,000	
④受取寄付金	120,000	150,000			150,000	△ 30,000	(注1)
⑤雑収入等	5,000	33,652	7		33,659	△ 28,659	(注2)
⑥他会計からの繰入額	0	0	70,000		70,000	△ 70,000	
事業活動収入計	835,000	896,652	70,007	0	966,659	△ 131,659	
(2) 事業活動支出					0		
①事業費支出	510,000	650,261	0	0	650,261	△ 140,261	
②管理費支出	315,000	225,840	70,000	0	295,840	19,160	
③他会計への繰出額	0	70,000	0		70,000	△ 70,000	
事業活動支出計	825,000	946,101	70,000	0	1,016,101	△ 191,101	
事業活動収支差額	10,000	△ 49,449	7	0	△ 49,442	59,442	
2. 投資活動収支							
(1) 投資活動収入	0	0	0	0	0	0	
(2) 投資活動支出	0	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
3. 財務活動収支							
(1) 財務活動収入	0	0	0	0	0	0	
(2) 財務活動支出	0	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
4. 予備費支出	10,000	0	0	0	0	10,000	
当期収支差額	0	△ 49,449	7		△ 49,442	49,442	
前期繰越収支差額	641,216	599,467	41,749		641,216	0	
次期繰越収支差額	641,216	550,018	41,756		591,774	49,442	

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(注1) 受取寄付金

関東交通印刷(株)様	100,000 円
交通新聞社・旅の手帖様	20,000 円
鉄道博物館様	20,000 円
赤池秀夫様	10,000 円

(注2) 雜収入等

書籍売上	33,530 円
受取利子	129 円

事業活動支出の内訳

単位:円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計b		
1. 事業費							
(1)地域鉄道フォーラム等の開催	80,000	120,706			120,706	△ 40,706	
(2)鉄道写真詩コンテストの開催	300,000	350,695			350,695	△ 50,695	
(3)機関誌等の作成	100,000	178,860			178,860	△ 78,860	(注)
(4)地域鉄道等支援	30,000		0		0	30,000	
事業費計	510,000	650,261	0		650,261	△ 140,261	
2. 管理費							
(1)旅費交通費	5,000	0			0	5,000	
(2)通信費	99,000	112,765			112,765	△ 13,765	郵便、HP等
(3)諸会費	10,000	0			0	10,000	
(4)会議費	10,000	2,548			2,548	7,452	
(5)印刷製本費	5,000	20,930			20,930	△ 15,930	
(6)賃借料	70,000	67,320			67,320	2,680	事務所
(7)事務用消耗品費	30,000	16,452			16,452	13,548	
(8)新聞図書費	1,000	1,145			1,145	△ 145	
(9)委託費	0	0			0	0	
(10)租税公課	80,000	0	70,000		70,000	10,000	法人税等
(11)雑費	5,000	4,680			4,680	320	
管理費計	315,000	225,840	70,000		295,840	19,160	
3. 他会計への繰出額		0	70,000		70,000	△ 70,000	
事業活動費計	825,000	946,101	70,000		1,016,101	△ 191,101	

(注) 機関誌等の作成
『地域交通を考える』
『地域の発展と鉄道』

149,400 円
29,460 円

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲 資金の範囲は、現金預金額の範囲内
2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

単位:円		
科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	730,216	690,244
未収入金	0	0
前払費用	0	0
立替金	0	0
資産 a	730,216	690,244
短期借入金	0	0
未払費用	0	0
未払金	70,000	70,000
預り金	0	0
前受金	19,000	28,470
負債 b	89,000	98,470
繰越収支差額 a-b	641,216	591,774

貸借対照表

2025年3月31日 現在

単位:円

科 目	当 年 度				前年度 b	増減 a-b	備 考
	一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計 a			
1. 資産の部							
(1) 流動資産							
現金預金	578,488	111,756		690,244	730,216	△ 39,972	
未収入金				0	0	0	
前払費用				0	0	0	
立替金				0	0	0	
流動資産合計	578,488	111,756		690,244	730,216	△ 39,972	
(2) 固定資産							
什器備品	0	0		0	0	0	
固定資産合計	0	0		0	0	0	
資産合計	578,488	111,756		690,244	730,216	△ 39,972	
2. 負債の部							
(1) 流動負債							
短期借入金	0	0		0	0	0	
未払費用				0	0	0	
未払金		70,000		70,000	70,000	0	法人税等
預り金		0		0	0	0	
前受金	28,470	0		28,470	19,000	9,470	会費前受け
負債合計	28,470	70,000		98,470	89,000	9,470	
3. 正味財産の部							
基金	700,000	0		700,000	700,000	0	
一般正味財産	△ 149,982	41,756		△ 108,226	△ 58,784	△ 49,442	
正味財産合計	550,018	41,756		591,774	641,216	△ 49,442	
負債及び正味財産合計	578,488	111,756		690,244	730,216	△ 39,972	

正味財産増減計算書

第16期：2024年4月1日～ 2025年3月31日

単位:円

科 目	当 年 度				前年度 b	増減 a-b	備 考
	一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計 a			
I 基金増減の部							
基金期首残高	700,000			700,000	700,000	0	
基金期末残高	700,000			700,000	700,000	0	
II 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金	6,000	0		6,000	6,000	0	
受取年会費	707,000	0		707,000	644,000	63,000	
事業収益	0	0		0	0	0	
受取寄付金	150,000	0		150,000	140,000	10,000	
雑収入等	33,652	7		33,659	127,586	△ 93,927	
他会計からの繰入額	0	70,000		70,000	70,000	0	
経常収益合計	896,652	70,007		966,659	987,586	△ 20,927	
(2) 経常費用							
事業費	650,261	0		650,261	594,646	55,615	
管理費	225,840	70,000		295,840	372,630	△ 76,790	
他会計への繰出額	70,000	0		70,000	70,000	0	
経常費用計	946,101	70,000		1,016,101	1,037,276	△ 21,175	
当期経常増減額	△ 49,449	7		△ 49,442	△ 49,690	248	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0		0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0		0	0	0	
当期経常外増減額	0	0		0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 49,449	7		△ 49,442	△ 49,690	248	
一般正味財産期首残高	△ 100,533	41,749		△ 58,784	△ 9,094	△ 49,690	
一般正味財産期末残高	△ 149,982	41,756		△ 108,226	△ 58,784	△ 49,442	
正味財産合計	550,018	41,756		591,774	641,216	△ 49,442	

財務諸表に対する注記

重要な会計指針

- 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日・改正平成21年10月16日・改正令和2年5月15日付け)
内閣府公益認定等委員会)に準拠しています。
- 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2025 年 4 月 10 日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク
代表理事 原 潔 様

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク 監事

小 島 好 己 印
入 江 聰 印

第16期：2024年4月1日～2025年3月31日

監 査 報 告 書

私は、2024年4月1日から2025年3月31日までの第16期会計年度における会計及び業務の監査を行い、その結果を次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査は、帳簿並びに関係書類の整合閲覧により、決算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査は、理事会及びその他の会議に出席し、必要と思われる事項について理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 財務諸表及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財務状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は、事実と認める。

以上

2025年度 事業計画

一般社団法人交通環境整備ネットワーク

改正地域交通法のもとで、鉄道を軸とした公共交通再構築の取組が始まっています。当法人はその取組を支援していくと共に、より良い交通環境の整備に向けての調査研究を進めて参ります。

1. 交通環境の調査研究

地域鉄道、都市鉄道、幹線鉄道、バス等の交通環境に関する諸情報を収集し、その歴史的背景や運営方策、需要動向等、交通環境全般にわたる調査研究を行います。

調査研究の成果については会報『地域交通を考える』等を通じて広く公表を行います。

2. 交通環境の整備

環境負荷が小さく、より良い交通環境の整備を進めていくためには、今ある地域交通の状況を広く多くの方に知っていただく必要があります。

そのため、地域鉄道フォーラムの開催を計画するとともに、鉄道の魅力とその旅の楽しさを発信するために、鉄道写真詩コンテストを開催します。

(1) 地域鉄道フォーラム 2025 「LRTによるまちづくり」の開催

期日：2025年6月14日（土）13:00～15:10

開催場所：東武博物館ホール

宇都宮市は、ネットワーク型コンパクトシティの実現を目指し、将来に亘っての市民の有効な交通手段としてLRTを選択、芳賀町と共に整備事業を進め、2023年8月に宇都宮駅から芳賀・高根沢工業団地間14.6キロを開業しました。

宇都宮都市圏の東西交通軸として、しっかりと市民に定着し、まちのにぎわいを創出するとともに、その走る姿はまちの大重要な景観ともなっています。

導入構想から30年、開業に至るまでどのような課題を乗り越える必要があったのか、まちづくりに鉄道の果たす役割について論じていただきます。

プログラム

1. 開会あいさつ 一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事 原 潔

2. 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 軽部 努氏

3. 基調講演1「トラムとまちづくり」関西大学経済学部教授 宇都宮淨人氏

基調講演2「LRTによるまちづくり～宇都宮市の取り組み」

宇都宮市副市長 東 智徳氏

4. トークセッション「まちづくりに鉄道の果たす役割・可能性」

コーディネーター／関西大学経済学部教授 宇都宮淨人氏

宇都宮市副市長 東 智徳氏

鉄道アーティスト 小倉沙耶氏

宇都宮ライトレール株式会社顧問弁護士 小島好己氏

(2) 鉄道写真詩コンテスト 2025 の開催

鉄道写真詩とは、「鉄道写真」に「詩」を組み合わせて鉄道の魅力やその旅情を表現する新たな芸術活動です。

本コンテストは、その登竜門としての役割を担うもので、2017年より毎年開催をし、本年度9回目となります。

コンテストの概要

①写真の撮影及び詩作は同一人であって、未発表のものに限ります。

②応募点数は一人3点までとします。

③写真は、鉄道を題材としたものであって単写真に限ります（組写真は不可）。銀塗写真、デジタル写真の別、カラー、モノクロの別は問いません。画像ファイルは、

JPEG 形式とし、ファイルサイズは 5MB 以内（大きい画像は 5MB 以内に圧縮）とします。

④詩は、自由詩、散文詩のいずれも可。一行詩から、20 行未満の詩であって、20 字 × 20 行 = 400 字以内とします。

表彰

入賞

国土交通省鉄道局長賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）

鉄博賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）

米屋こうじ賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）

水無田氣流賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）

エコトラン賞（若干数、表彰状及び副賞 10,000 円ギフトカード）

作品募集期間 自 2025 年 7 月 1 日（火）

至 2025 年 9 月 30 日（火）

受賞作品の発表 2025 年 10 月 31 日（金）

受賞作品の展示（予定）東武博物館・鉄道博物館・日本現代詩歌文学館

このほかセミナートレイン等の開催を検討すると共に、国、地方公共団体、大学、鉄道会社等の交通環境整備に資する諸活動への参加、後援及び協力を行います。

3. 地域鉄道支援事業

地域鉄道に対しての法律相談や地域鉄道技術懇話会による安全対策等の支援を行います。

4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

（1）インターネットによる情報発信

インターネットホームページ <https://ecotran.or.jp/> を使って鉄道の魅力をはじめ様々な情報発信を行うとともに、鉄道諸情報等を収集し、会員へのメールによる情報配信を行います。

（2）機関誌『地域交通を考える』の発行

交通環境調査研究の成果及び地域鉄道等の諸情報をまとめた機関誌『地域交通を考える』通巻第 17 号を発行します。原稿締切は、11 月 30 日、発行は、2026 年 2 月を予定しています。

本誌は、国立研究開発法人科学技術振興機構において科学技術情報誌に認定されており、掲載論考は国の文献データベースに登載されます。

（3）河合 篤著『データブック 日本の鉄道 150 年』の発行

当法人河合篤審議役のこれまでの研究集大成となる『データブック 日本の鉄道 150 年』を発行します。日本の鉄道の免許から廃止までの全歴史を線別に年表としたもので、鉄道史研究の必読書となるものです。

A4 版 表紙カラー、本文 250 ページ程度

発行：2025 年度上半期

価格：3,300 円予定

会員には、会員特価を設定の予定

（4）中央区立環境情報センターからの情報発信

中央区立環境情報センターを利用して、交通環境に関する情報を発信していきます。

（5）関西支部の設置

関西支部を設置し、関西圏を中心とした地域鉄道支援並びに情報発信の強化を図って参ります。

2025年度 収支予算書

単位:円

項目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業活動収支					
(1) 事業活動収入					
①受取入会金	10,000			10,000	10,000
②受取年会費	700,000			700,000	600,000
③事業収益		100,000		100,000	100,000
④受取寄付金(協賛金)	140,000			140,000	120,000
⑤雑収入等	5,000			5,000	5,000
⑥他会計からの繰入額	0	0		0	0
事業活動収入計	855,000	100,000		955,000	835,000
(2) 事業活動支出					0
①事業費支出	600,000	30,000		630,000	510,000
②管理費支出	245,000	70,000		315,000	315,000
③他会計への繰出額	0	0		0	0
事業活動支出計	845,000	100,000		945,000	825,000
事業活動収支差額	10,000	0		10,000	10,000
2. 投資活動収支					
(1) 投資活動収入	0	0		0	0
(2) 投資活動支出	0	0		0	0
投資活動収支差額	0	0		0	0
3. 財務活動収支					
(1) 財務活動収入	0	0		0	0
(2) 財務活動支出	0	0		0	0
財務活動収支差額	0	0		0	0
4. 予備費支出	10,000	0		10,000	10,000
当期収支差額	0	0		0	0
前期繰越収支差額	550,018	41,756		591,774	641,216
次期繰越収支差額	550,018	41,756		591,774	641,216

事業活動支出の内訳

単位:円

項目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業費					
(1) 地域鉄道フォーラム等の開催	100,000			100,000	80,000
(2) 鉄道写真詩コンテストの開催	300,000			300,000	300,000
(3) 機関誌等の作成	150,000			150,000	100,000
(4) 地域鉄道等支援事業	50,000	30,000		80,000	30,000
事業費計	600,000	30,000		630,000	510,000
2. 管理費					
(1) 旅費交通費	5,000			5,000	5,000
(2) 通信費	99,000			99,000	99,000
(3) 諸会費	10,000			10,000	10,000
(4) 会議費	10,000			10,000	10,000
(5) 印刷製本費	5,000			5,000	5,000
(6) 賃借料	70,000			70,000	70,000
(7) 事務用消耗品費	30,000			30,000	30,000
(8) 新聞図書費	1,000			1,000	1,000
(9) 委託費	0			0	0
(10) 租税公課	10,000	70,000		80,000	80,000
(11) 雜費	5,000			5,000	5,000
管理費計	245,000	70,000		315,000	315,000
3. 他会計への繰出額	0	0		0	0
事業活動費計	845,000	100,000		945,000	825,000

第1号議案 理事選任の件

理事は、任期2年となっており、現在理事を務める候補番号1から10は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので再選任を、候補番号11は、新任選任をお願いします。

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴
1	原 潔 (昭和23年9月28日)	運輸省、国土交通省を経て千葉都市モノレール取締役運輸部長、日本民営鉄道協会総務広報部長、(財)運輸政策研究機構運輸政策研究所研究員を務める。鉄道史学会会員。平成21年3月より当法人専務理事、平成27年より代表理事(現在)
2	向後功作 (昭和38年2月5日)	銚子電気鉄道次長、銚子市観光プロデューサー等を経て、LLC Harmony 代表。総務省地域力創造アドバイザー、関東運輸局地域公共交通マイスター、放送大学非常勤講師を務める。平成21年3月より当法人常務理事、令和元年より理事(現在)
3	吉田千秋 (昭和39年11月24日)	富山地方鉄道、万葉線株式会社を経て、2008年4月よりひたちなか海浜鉄道株式会社取締役社長。関東運輸局地域公共交通マイスターを務める。平成21年3月 当法人理事、平成22年7月より常務理事、令和5年6月より専務理事(現在)
4	田中 人 (昭和43年6月23日)	山陽学園大学地域マネジメント学部教授。経済社会学を専門とし、まちづくりやコミュニティデザイン、地域再生・創造の研究・実践を行う。経済社会学会理事。平成21年3月より当法人理事、令和5年6月より常務理事(現在)
5	藤本昌弘 (昭和44年4月19日)	鉄道等の乗車券全般にわたるデザインと硬券印刷を手がけると共に鉄道関連グッズの開発、発売によって地域鉄道の支援を行う。関東交通印刷株式会社代表取締役。平成25年6月より当法人理事、令和元年より地域鉄道支援事業本部長を兼務(現在)
6	山口禎一 (昭和28年1月18日)	航空・鉄道事故調査委員会鉄道事故調査官、北海道運輸局・北陸信越運輸局で鉄道部長、鉄道・運輸機構鉄道助成部担当部長、小田急電鉄安全・技術部担当部長等を経て(一財)休暇村協会勤務。平成28年8月より当法人審議役、令和元年より常務理事(現在)
7	濵谷房子 (昭和31年6月4日)	津軽鉄道(株)入社後総務及び経理、企画部門を担当、管理・企画グループを統括する執行役員を経て、現在同社顧問。平成23年4月より当法人審議役、令和元年より理事(現在)
8	上岡佳子(関西佳子) (昭和38年1月21日)	野村證券を経て、水間鉄道にシステムエンジニアとして入社。同社総務部長を経て同社社長、会長を歴任。平成28年12月より当法人審議役、令和元年より理事(現在)
9	大熊 昭 (昭和30年10月11日)	運輸省、国土交通省の政策部門において観光、統計、公共交通のバリアフリー化等に携わる。(公財)交通エコロジー・モビリティ財団、(一社)日本地下鉄協会を歴任。平成27年1月より当法人審議役、令和5年6月より理事(現在)
10	湯田豊人 (昭和29年1月15日)	国土交通省鉄道局首席鉄道安全監察官、関東運輸局鉄道部次長、中部運輸局鉄道部長、京王電鉄株式会社鉄道事業本部、交通安全環境研究所を経て(一社)日本鉄道運転協会安全企画部長。令和元年3月より当法人審議役、令和5年6月より理事(現在)
11	早崎詩生 (昭和35年9月26日)	株式会社企画開発、社会システム株式会社において、鉄道、港湾、空港等の整備、建設計画、需要予測に携わる。現在、社会システム株式会社専務取締役。上級土木技術者、日本土木学会会員、ジャズピアニストとしての顔を持つ。

第2号議案 監事選任の件

監事1名の選任をお願いします。当法人の監事は任期4年となっており、小島好己監事と入江聰監事との2名体制で執行しておりますが、小島好己監事が任期満了となりますので再選任をお願いします。

氏名 (生年月日)	略歴
小島好己 (昭和46年2月19日)	平成12年東京弁護士会登録、よしき法律事務所、東京神谷町綜合法律事務所を経て翠光法律事務所を設立し、同事務所弁護士。千葉県後期高齢者医療連合情報公開・個人情報保護審査会委員、宇都宮ライトール株式会社顧問弁護士。平成25年より当法人監事(現在)